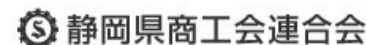


News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和7年6月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび令和7年6月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和7年6月30日
- (2) 調査対象 県下35商工会（うち35商工会より回答）【回収率100%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の10業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【原材料高騰や受注減で製造業が厳しい状況にある一方、小売業では冷房機器需要の増加、サービス業では停滞が緩和され、4期ぶりに全体の業況がやや好転した】

産業全体の業況DI（景気動向指数・前年同月比）は-30.7（前月-32.2、前年同月-19.1）で、前月比1.5pt好転した。機械金属業では原材料価格の高騰や人件費の増加、米国関税措置の不透明感、受注減少により業況が悪化し、人員削減や採用難が課題となっている。一方、小売業は冷房機器等の一部商品に需要が見られ、サービス業は停滞が長引いたものの業況が好転した。

【製造業】

業況は-35.2（前月-33.3、前年同月-14.7）と前月に比べ1.9pt悪化した。機械金属業では原材料価格高騰や人件費増加、米国関税措置の不透明感、受注減少の影響が業況悪化を招き、求人難や人員削減の動きも見られる。一方で食料品では価格転嫁を通じ堅調に推移している。

【建設業】

業況は-28.6（前月-28.6、前年同月-32.3）と前月比変動なしであった。業況は横ばいで推移しているものの、資材価格の高止まりや受注の減少に加え、暑さによる作業効率の低下や熱中症対策の義務化等による現場負担の増加が課題となっている。

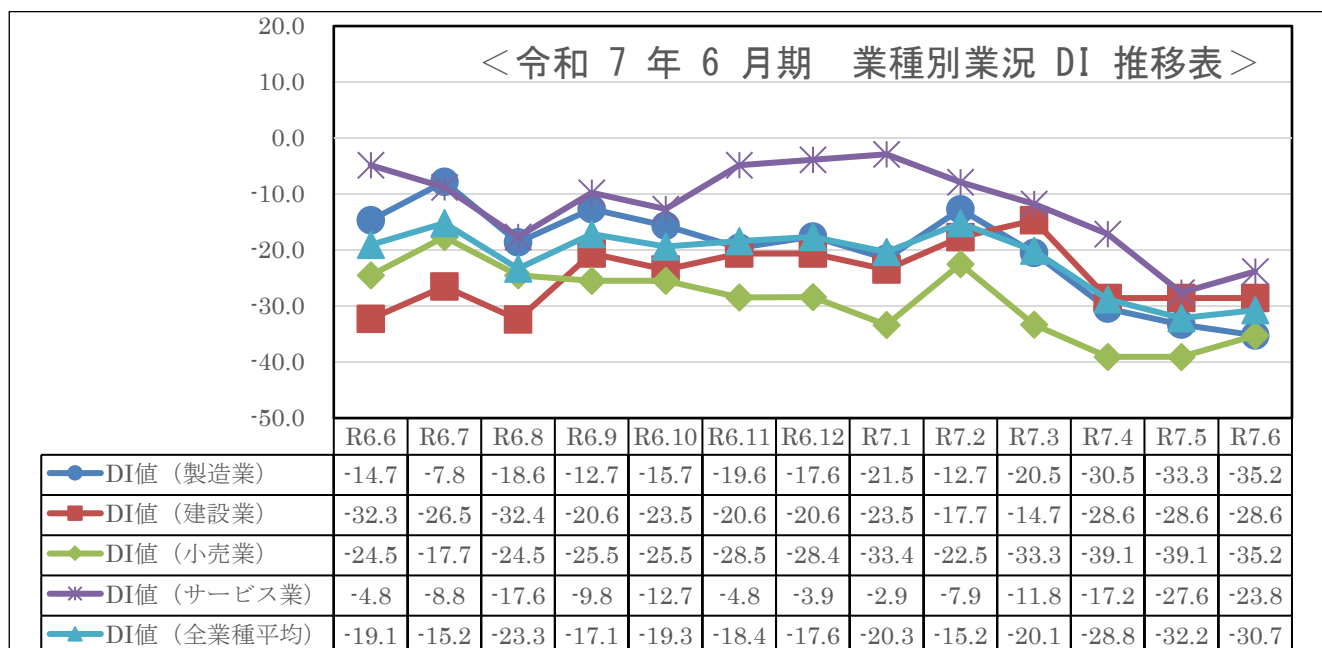
【小売業】

業況は-35.2（前月-39.1、前年同月-24.5）と前月比3.9pt好転した。物価高騰による消費抑制や米価格の高止まりが続く一方、冷房機器の需要や季節商品の婦人服に動きが見られた。

【サービス業】

業況は-23.8（前月-27.6、前年同月-4.8）と前月に比べ3.8pt好転した。業界全体では経費の増加や人手不足等の課題が深刻化しているものの、業況は5カ月ぶりに好転した。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 Tel054-255-9811〔担当：増田・片平〕



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】（食料品製造業・繊維工業・機械金属業）

- ・機械金属業では米国関税措置の影響が明確ではないが、8月以降の受注が減少しており、今後は自動車産業の仕事割合を減少していく方向で検討している。（伊豆）
- ・機械金属業では求人難に関する相談が多い状況である一方で、自動車関連においては人員削減に向けた取り組みを進める事業所も見受けられる。（富士駿東）
- ・食料品では原材料価格の重荷があるが、価格転嫁等により堅調に推移している。（中部）
- ・機械金属業では自動車関連で原材料価格の高騰や光熱費、人件費の増加、受注減少等の影響により業況が悪化している。（中東遠）
- ・繊維工業では海外製の安価な製品が増加しており、全体として減少傾向にあるが、後継者不足による廃業が多いため受注は一定数存在している。また機械を製造する国内事業所がなくなり代理店のみとなってしまう、修理等の対応が困難な状況である。（西遠）

【建設業】

- ・全体的な売上は横ばいで推移しているものの、市内の需要は停滞している。また公共工事の減少や資材価格の高止まりが続いている状況である。（伊豆）
- ・受注は安定し価格転嫁ができていくが、人手不足が依然として続いている。（富士駿東）
- ・鉄骨工事業では、元請けからの受注が減少し業況の悪化が懸念される。（中部）
- ・リフォーム需要はあるが対応する大工が減少し、着工の遅れが生じる現場が多い。（中東遠）
- ・6/1から熱中症対策が義務化され、休憩時間の確保や飲料の配布、空調服の使用等を実施しているが、暑さの影響で作業効率が低下し、梅雨時期で工期の延長も生じている。（西遠）

【小売業】（衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業）

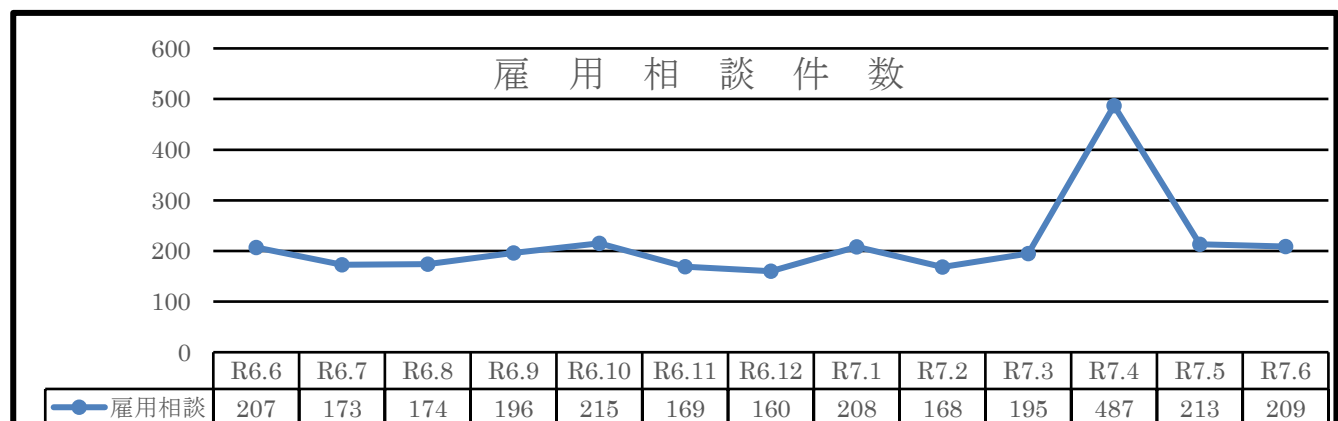
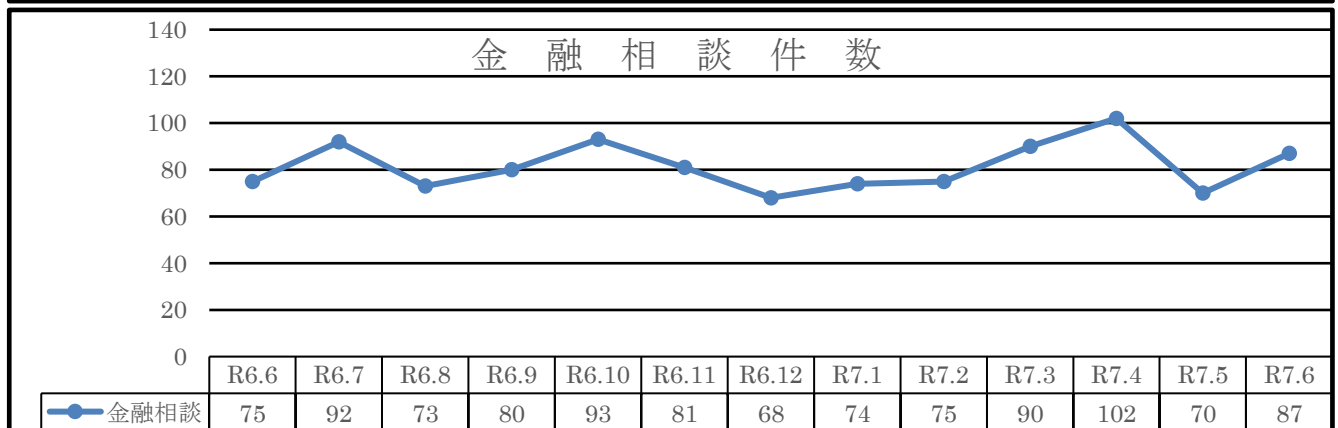
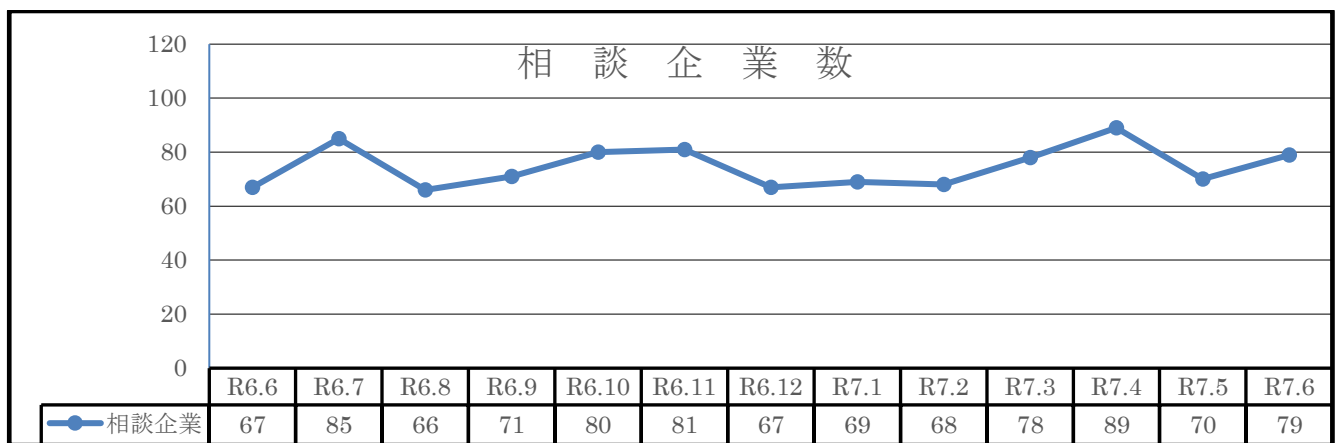
- ・衣料品では暑さの影響を受け、婦人服の中で季節商品が動いている状況である。（伊豆）
- ・家電販売店では猛暑の影響で冷房機器の購入と共にメンテナンスの相談が多い。（富士駿東）
- ・食料品では備蓄米を販売する小売店があるが、価格高騰で厳しい業況が続いている。（中部）
- ・物価高騰の影響が長引き、消費者の買い控えが続いている。特に高額商品の売上減少が顕著であり、資金繰りの悪化が見られる。（中東遠）
- ・食料品では野菜の価格は一時期の水準に比べ落ち着いてきたものの、米の価格は依然として高止まりしている状況である。（西遠）

【サービス業】（旅館業・洗濯業・理美容業）

- ・旅館業ではインバウンド需要が好調であったが、不安要因が広まる中で中国や台湾からの来訪者が減少し、営業活動を行うも成果が上がらないという事業者の声が聞かれた。（伊豆）
- ・業種全体で人手不足や採用難を課題とする事業者が多い状況である。（富士駿東）
- ・理美容業では人件費や資材の高騰を受け、値上げに踏み切る事業者が見られた。（中部）
- ・旅館業ではインバウンドの影響は少ないものの、大型スタジアムで開催されたイベント等により業況が好転した。（中東遠）
- ・洗濯業では業界全体が低迷し、取引先の一部で縮小や廃業を検討する動きがある。（西遠）

金融・雇用相談実績月次報告(令和7年6月期)

内容別内訳 (※ 1 件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	79	70	9
【金融相談件数】	87	70	17
新規融資（借換えを除く）	58	46	12
既存債務の借換え	26	21	5
借入れ条件変更	0	0	0
消費者金融・商工ローン関連	0	1	-1
貸し渋り・貸し剥がし	1	0	1
その他	2	2	0
【雇用相談件数】	209	213	-4



【金融相談】

金融相談件数は 79 件と前月 (70 件) に比べ 9 件増加した。資金繰りの厳しさが増す中で、運転資金に係る融資相談が増加しており、新型コロナ関連融資の返済遅延等の課題も顕著となっている。

＜経営指導員コメント＞

- ・ 4 月末の消費税振替納税に加え、5～6 月の天候不良が重なり、資金繰りが厳しいとの声が聞かれた。(伊豆)
- ・ 建設業では資金繰りの悪化や収益確保に係る融資相談があった。(富士駿東)
- ・ マル経融資の利用が昨年と比較して増加傾向である。(中部)
- ・ 昨今の物価高騰で経費等が逼迫し、運転資金の借入に係る相談が増加傾向にある。(中東遠)
- ・ 新型コロナ関連融資の返済が滞り、事業存続が困難となっている事業所が見られる(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、209 件と前月 (213 件) に比べ 4 件減少した。労働保険や助成金、就業規則の整備等に関する多岐にわたる相談が多く寄せられている。

＜経営指導員コメント＞

- ・ 労働保険の年度更新や雇用保険の被保険者資格取得・喪失等、従業員の就業に関する相談に適宜対応した。(富士駿東)
- ・ 従業員の入退社や短時間労働者の雇用保険に関する相談があった。(中部)
- ・ 前月に引き続き、助成金に関する相談が多く寄せられている。(中東遠)
- ・ 一人親方労災保険の加入や休業補償、就業規則の整備等に関する相談があった。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・ 6/4 (水) に伊豆下田青色申告会女性部の「税務セミナー」が当町で開催され、下田市や賀茂郡内の女性部員約 60 名が参加した。(河津町)
- ・ 6/11 (水) に河津町、東伊豆町、南伊豆町商工会青年部の 3 青年部合同による「絆感謝運動」が実施され、40 名が参加して河津浜海岸の清掃活動を行った。(河津町)
- ・ 6/10 (火) に富士市商工会女性部が米粉麺「富士山ひらら」にセルロースナノファイバーを配合したリニューアル商品を発表した。(富士市)
- ・ 6/8 (日) に「由比桜えび祭り」が開催され、多くの来場客で賑わった。(静岡市清水)
- ・ 6/24 (火) ～25 (水) に「かんばら共通商品券」を商工会窓口にて販売した。(静岡市清水)
- ・ 6/8 (日) に「第 4 回あさば de マルシェ」を開催し、25 者が出店した。Instagram の事前告知や新聞記事の掲載により、これまで以上に多くの来場者があった。(浅羽町)
- ・ 7/27 (日) に「掛川遠州灘“砂の祭典”ビーチフェスタ in 掛川 2025」を開催する。(掛川みなみ)
- ・ 6/22 (日) に新居弁天海釣公園で記念すべき「第 1 回あらいギョギョ市」が開催された。このイベントは浜名湖や遠州灘の旬の魚介や湖西の農作物等“地元の食”をより身近に感じ漁師や農家とのふれあいを通して“一次産業の魅力と背景”を知ってもらい、地域に新しい賑わいを生み出し、まちの元気に繋がりたいという思いから生まれた新しい取り組みである。初開催ながら 1,000 名以上の来場者が訪れ新しい繋がりを感じる場となった。(新居町)